

耳がふ

秋が冬の耳がふ

金子がふ

ここへ来て六ヶ七年に居る

子供のことも耳がふ

カレとる色とりどりの

やさしい花びら

それしか知ることの現存の耳がふ

にふとろいてり

元気がいい元気があがりすぎ

塩根とふ

出るとはあきあきの葉いづば

光がさしこ

内もすうかりふさがれ

ここ×うていひひか

の音がかか

宅邸便は白とが通ってく

息子がくうたび洋ビツエ

あさかあの整理をす

今日も州は通わるとうたしてふれ

マトハ元氣に母にふあわれ

あつさ をカワト していの

花白三ツム 一ヶ所に咲く

色白 かしや かか 天赤糸

さむく なると

けをふとし すっかり冬支にく

春上 ちると

向もし ちん ちん

葉か けい けい なる

元氣で いい なる

えき けい けいの けい かおし に

かこ ちん ちん

私ち えき い けい けい

2025 秋